

2025 年 10 月 30 日

各 位

J F E シ ス テ ム ズ 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 大 木 哲 夫
(コード番号) 4832 東証スタンダード市場
(問 合 わ せ 先) 総 務 部 長 高 野 由 起 子
(電 話 番 号) 03-5418-2400 (代表)

2026 年 3 月期第 2 四半期決算説明会 質疑応答（要旨）

当社は、2025 年 10 月 29 日（水）に「2026 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会」を機関投資家・マスコミ向けにオンライン形式にて開催しました。本資料は、ご出席いただきました皆様から頂いた質疑応答について内容をまとめ、公表するものです。なお、理解促進のため、一部内容を加筆修正し、要旨として記載しております。

本説明会の詳細（説明会資料・動画）につきましては、当社コーポレートサイトにて公表しておりますので、ご参照ください。

Q1：鉄鋼事業の事業環境が芳しくないということだが、今後の中期経営計画の全社業績目標には影響しないのか？重点事業や外販は堅調ということなので、そちらでリカバーするという意味では中期経営計画の当初の方針、事業シフトや外販拡大という戦略方針には大きく影響しないということか。

A1：足元の鉄鋼事業は厳しい状況ですが、鉄鋼以外の事業への積極的な人員シフトを前倒しで進めることで、鉄鋼以外の事業の成長を加速させる計画です。新卒・キャリア採用、協業/M&A、研究開発への投資も当初計画どおり進めます。また、重点成長事業に留まらず、産業ソリューションを中心とした他事業の拡大も並行して推進します。現時点で中期経営計画の業績目標数値を修正する予定はなく、鉄鋼部門の減収分は重点成長事業を中心とする鉄鋼以外の事業拡大など他部門の成長で補い、計画達成を目指します。

Q2：今期の鉄鋼向け売上見通しの内、製鉄所リフレッシュ案件の売上を教えて欲しい。また製鉄所リフレッシュ案件は今期で終了し、来期以降はゼロとなる見込みか？

A2：今期の鉄鋼事業売上は約 219 億円計画ですが、製鉄所システムリフレッシュ案件の具体的な売上比率は非公開とさせていただいております。なお、同案件は今年度中に完了予定で、来期以降は基本的にゼロとなる見込みです。一方で、JFE スチールの製鉄設備の大型投資（電気炉化、メッキライン増設等）に伴うシステム開発案件が今後発生する可能性は高く、こうした新規プロジェクトや鉄鋼以外の事業の受注拡大によって、製鉄所システムリフレッシュの売上減少分を補うべく積極的に取り組んでまいります。

ご注意

- ・本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。
- ・実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。

以上